

## IV-2. 罹患の時間的分布

罹患の時間的分布として、2000～2004年の260週について、週別の罹患数を観察した。観察にあたって、流行がない場合の罹患率推定値を比較の基準として用いた。

### 1) 検討方法

基礎資料としては、2000～2004年の5年間における感染症発生動向調査データとした。4・5類感染症の全数把握対象疾患の中で、先の14疾患を検討対象とした。

疾患ごとに、2000～2004年の260週について、週別の報告数を観察した。観察にあたって、偶然変動の指標として、流行がない場合に99%の週が超えない罹患数を示した。流行なしの場合に99%の週が超えない罹患数は、流行がない場合の罹患率（表IV-1-2）を用いて、ポアソン分布に基づいて算定した。なお、260週の99%は $260 \times 0.99 = 257.4$ 週、1%は2.6週である。

### 2) 検討結果

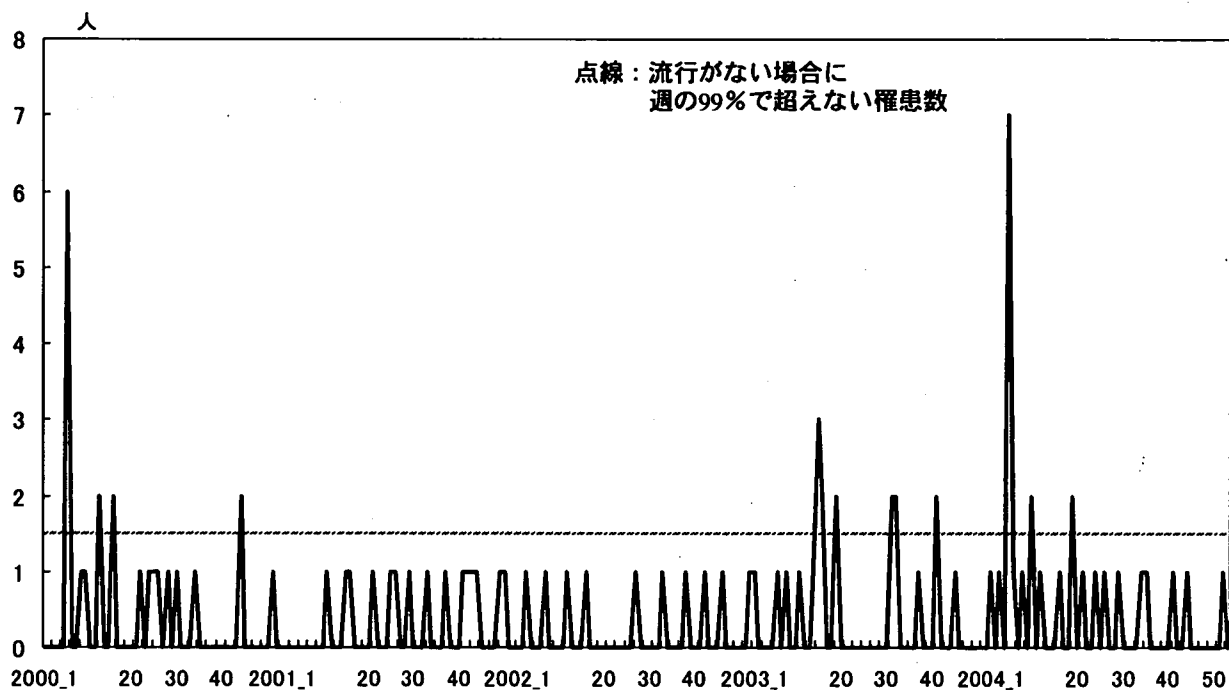
図IV-2-1にエキノкокクス症の週別罹患数を示す。罹患数は2000年と2004年のはじめに大きな山があり、また、2003年15週に小さい山が見られた。それ以外はほぼ一定の傾向であった。このような山（流行がない場合に99%の週が超えない罹患数を上回った状況）は、全国のどこかの地域で、流行が発生した可能性を示している。後述するように、エキノкокクス症の山はいずれも北海道で罹患が多かったためである。図IV-2-2にオウム病の週別罹患数を示す。罹患数は2001年、2002年と2004年を通して、何回かの山が見られた。図IV-2-3にQ熱の週別罹患数を示す。罹患数は2001年40週頃が比較的大きな山があり、2003年以降には山が見られなかった。図IV-2-4にクリプトスポリジウム症の週別罹患数を示す。罹患数は2002年11週と2004年37週にきわめて大きな山が見られた。

図IV-2-5に劇症型溶血性レンサ球菌感染症の週別罹患数を示す。罹患数には変動が見られたが、大きな山はなかった。図IV-2-6にジアルジア症の週別罹患数を示す。罹患数はいくつかの山が見られた。図IV-2-7に髄膜炎菌性髄膜炎の週別罹患数を示す。罹患数には大きな山が見られなかった。図IV-2-8にデング熱の週別罹患数を示す。罹患数は2004年33週頃に大きな山が見られた。

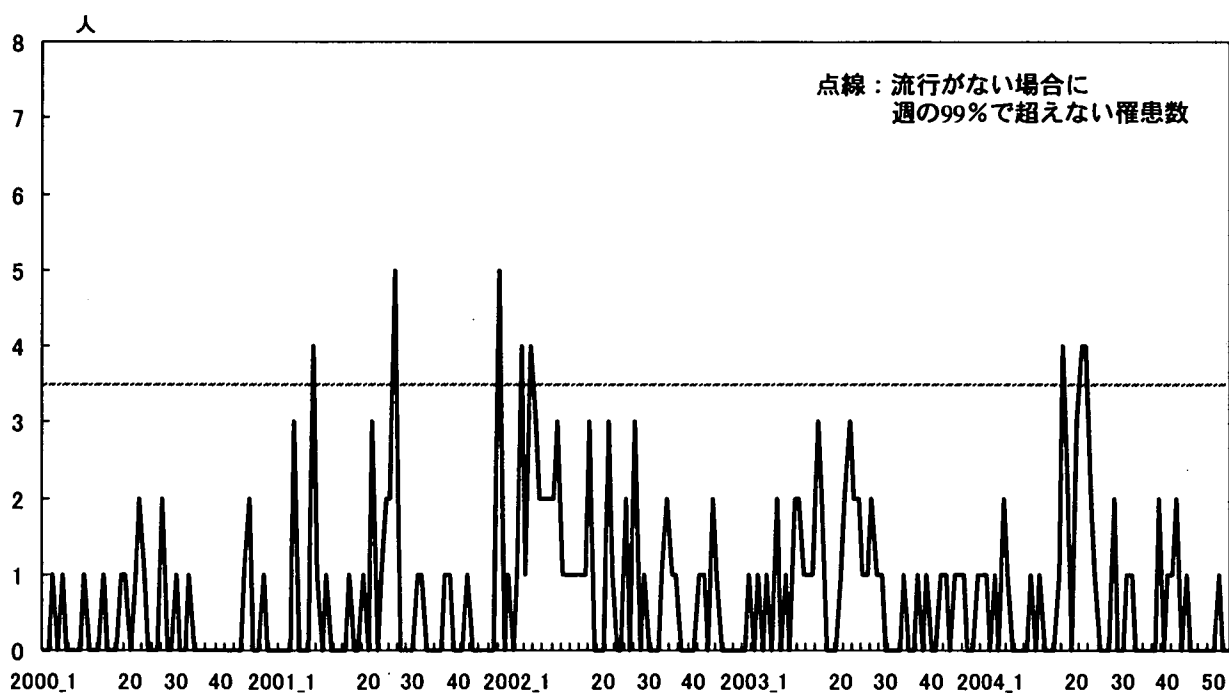
図IV-2-9に日本紅斑熱の週別罹患数を示す。罹患数は毎年とも20～50週に複数の山が見られた。図IV-2-10に破傷風の週別罹患数を示す。罹患数には変動が見られたが、大きな山はなかった。図IV-2-11にバンコマイシン耐性腸球菌感染症の週別罹患数を示す。罹患数は2000年から徐々に増加する傾向にあり、2003年に2つの山が見られた。図IV-2-12にマラリアの週別罹患数を示す。罹患数は2000年に比較的大きな山、2001年と2004年に小さい山が見られた。図IV-2-13にライム病の週別罹患数を示す。罹患数は毎年とも15～40週頃に小さい山が見られた。図IV-2-14にレジオネラ症の週別罹患数を示す。罹患数は2002年30週頃に大きな山、それ以外の年次に小さい山が見られた。

以上、各疾患について罹患数の時間的分布を観察した。山の高低、個数や周期性など、疾患によって様々な特徴が見られた。この観察方法は全国の週単位に流行発生の可能性をみるものである。比較の基準として、流行のない場合に週の99%で超えない罹患数には有用性があると考えられた。

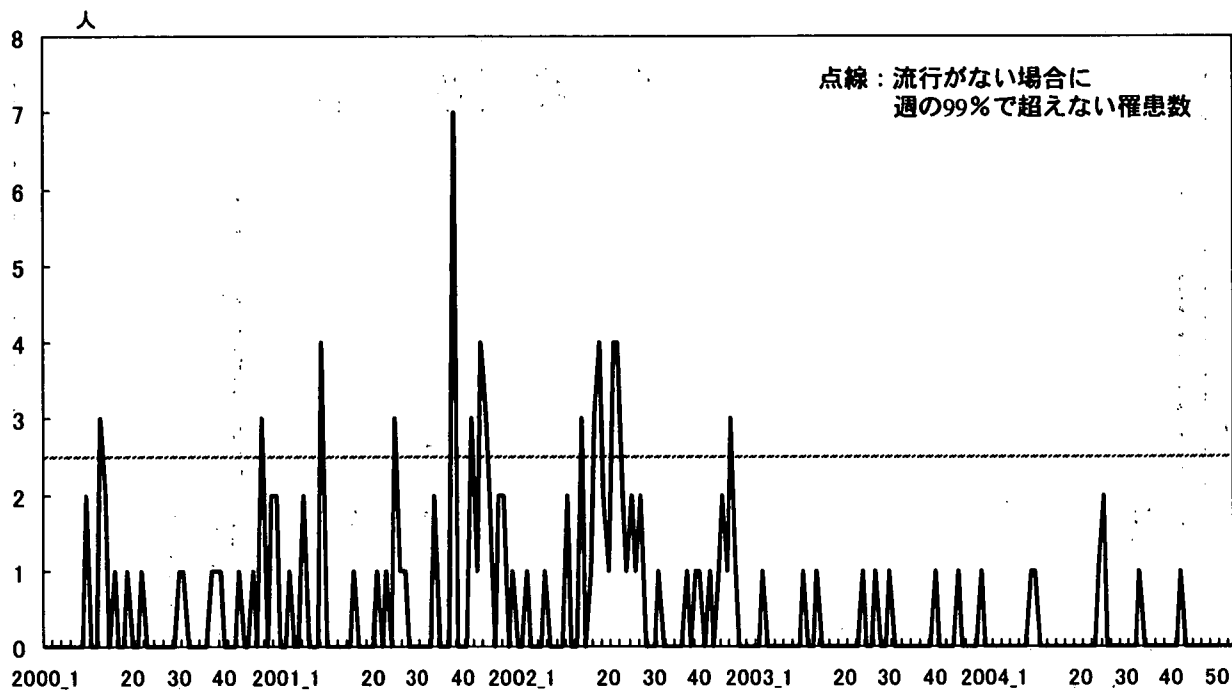
図IV-2-1. 週別、罹患数（エキノコックス症）



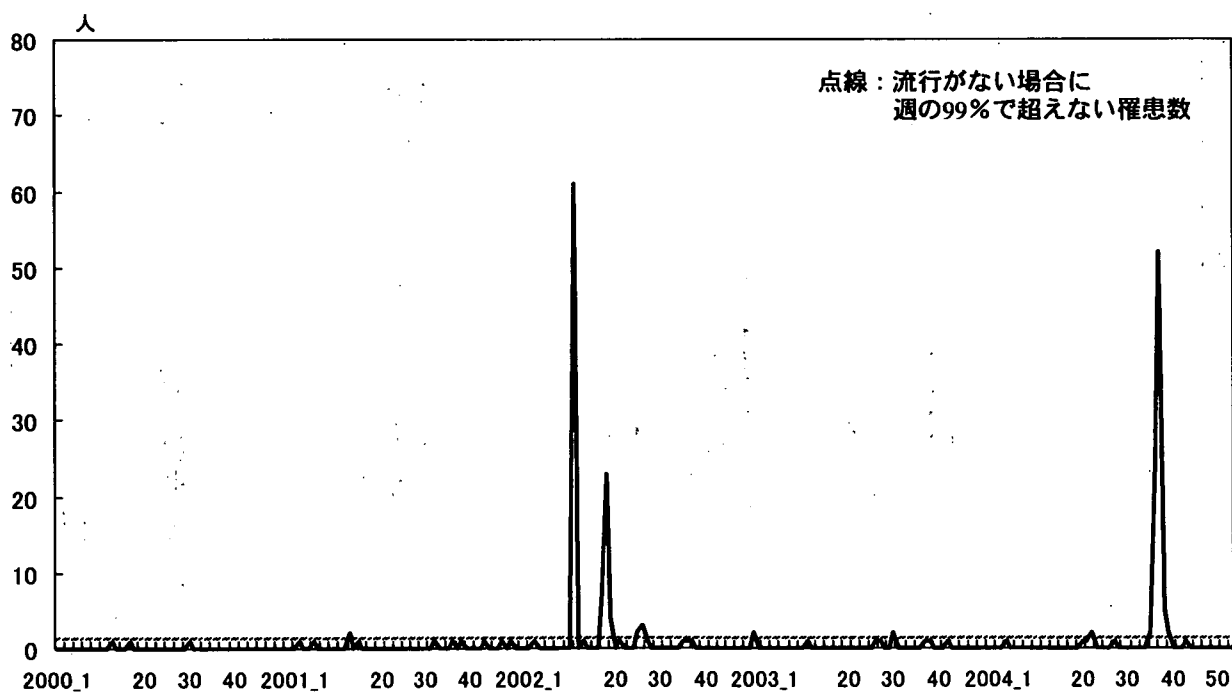
図IV-2-2. 週別、罹患数（オウム病）



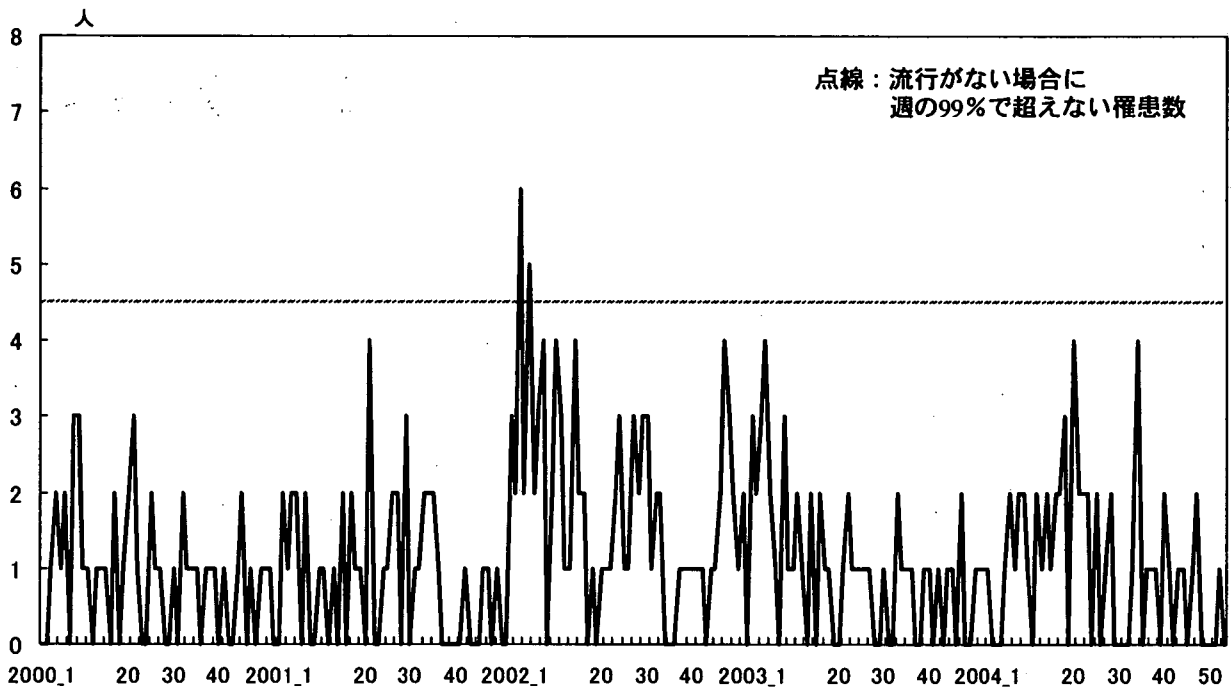
図IV-2-3. 週別、罹患数 (Q熱)



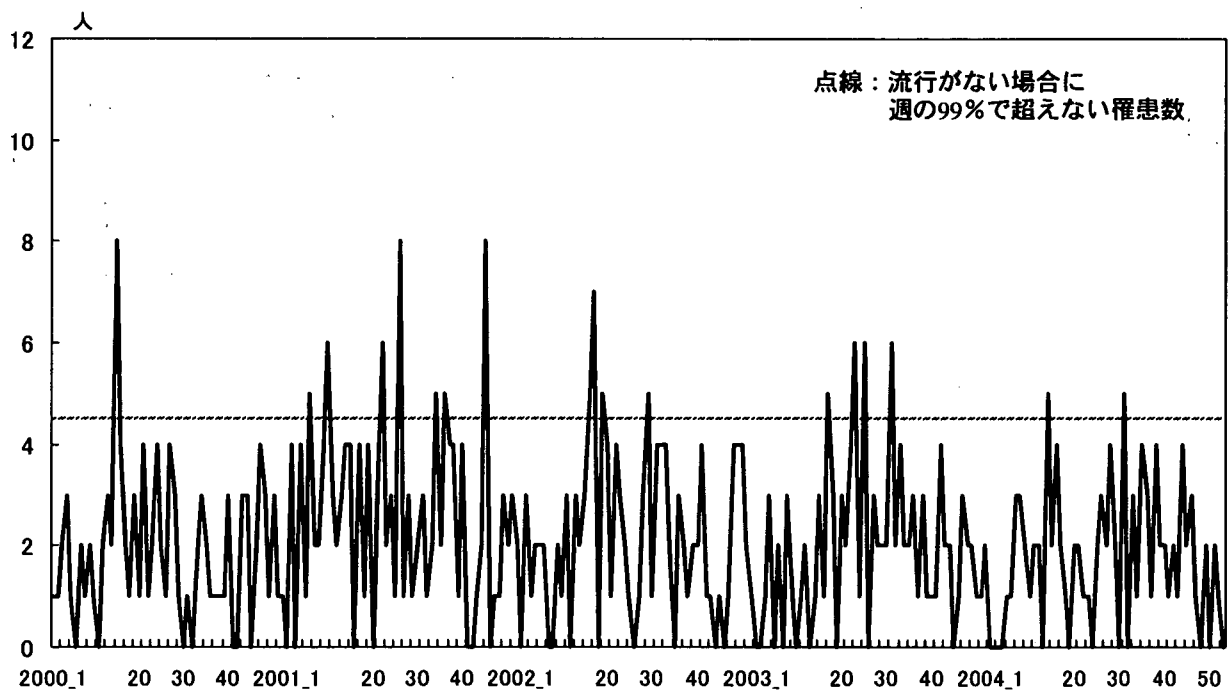
図IV-2-4. 週別、罹患数 (クリプトスポリジウム症)



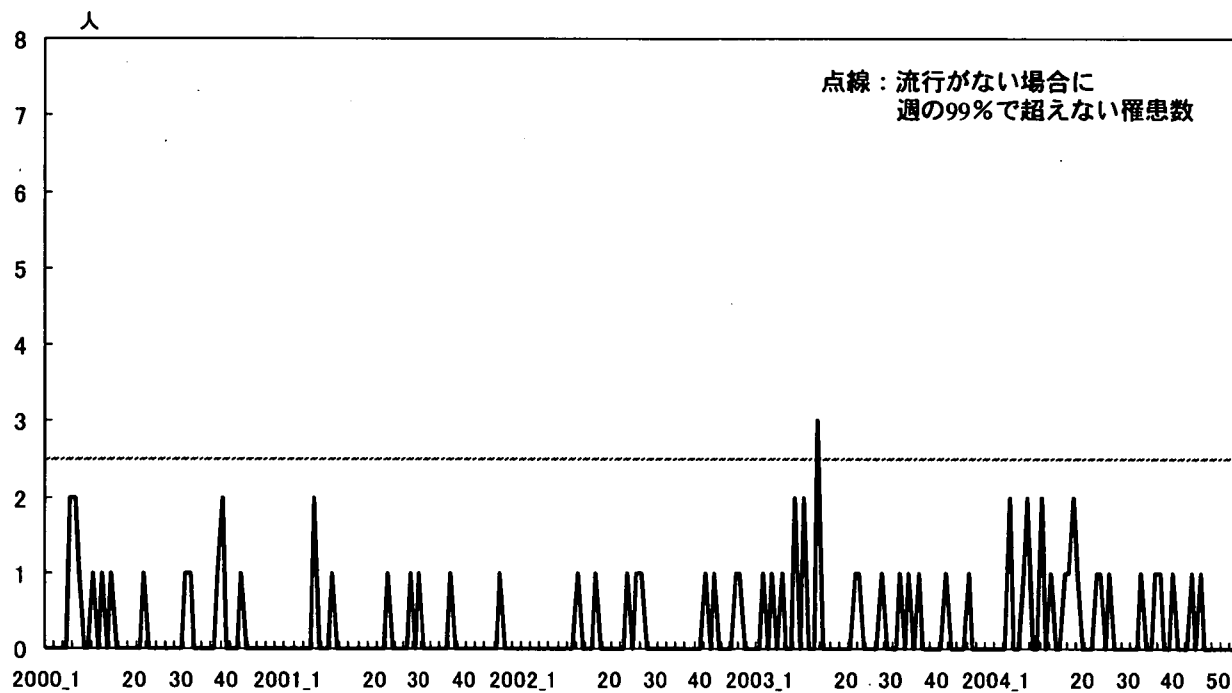
図IV-2-5. 週別、罹患数（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）



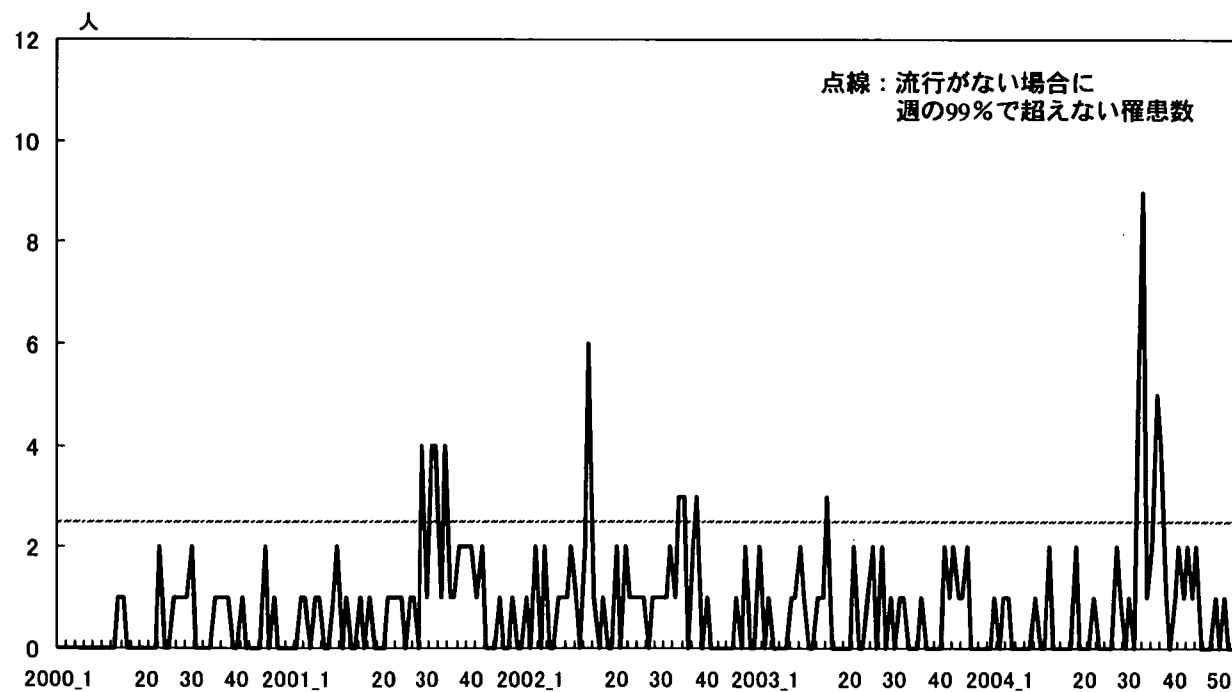
図IV-2-6. 週別、罹患数（ジアルジア症）



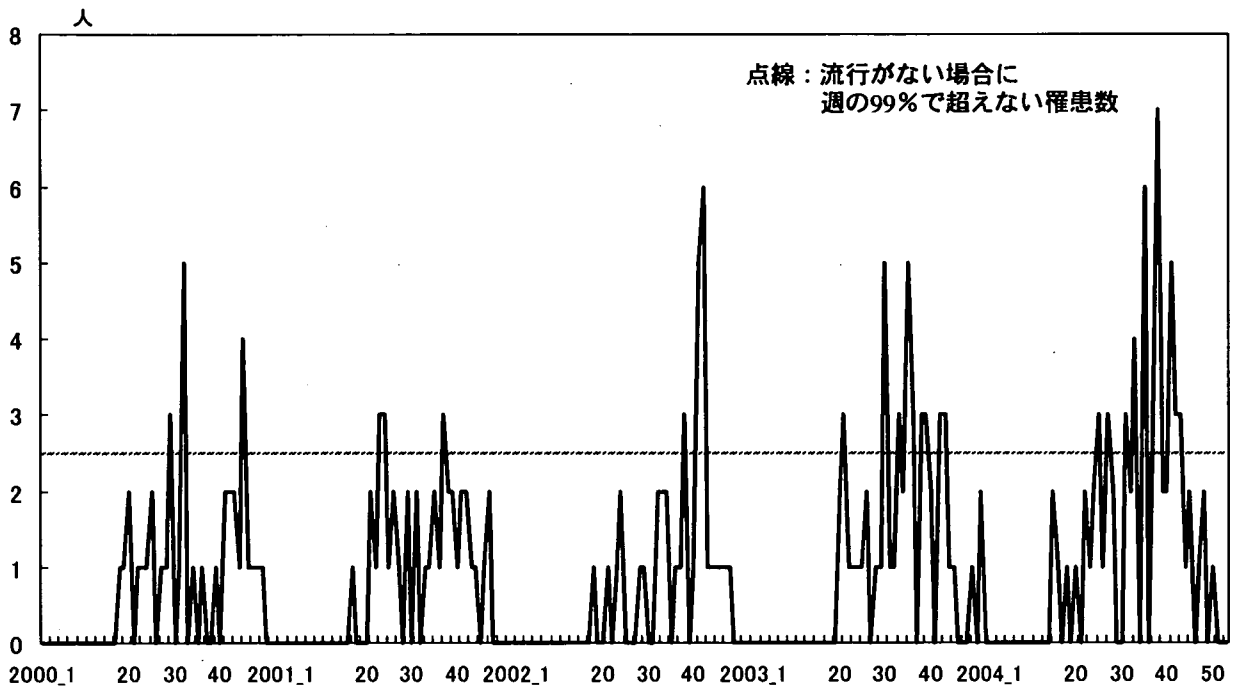
図Ⅳ－２－７．週別、罹患数（髄膜炎菌性髄膜炎）



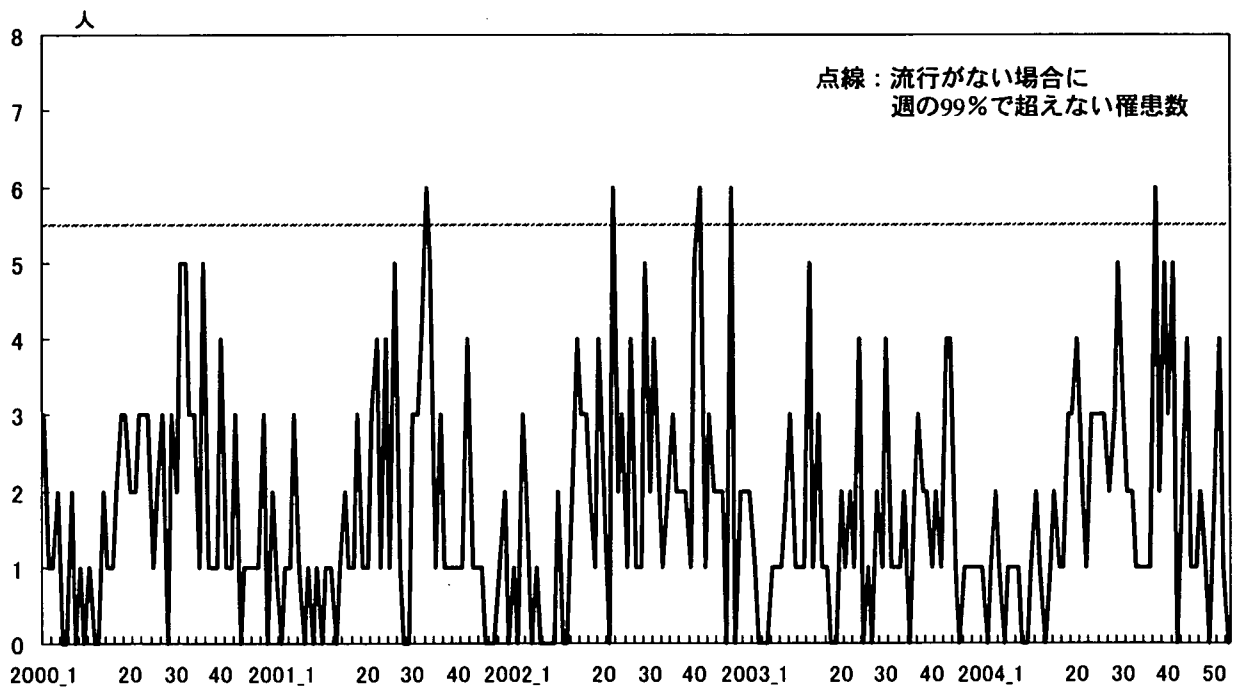
図Ⅳ－２－８．週別、罹患数（デング熱）



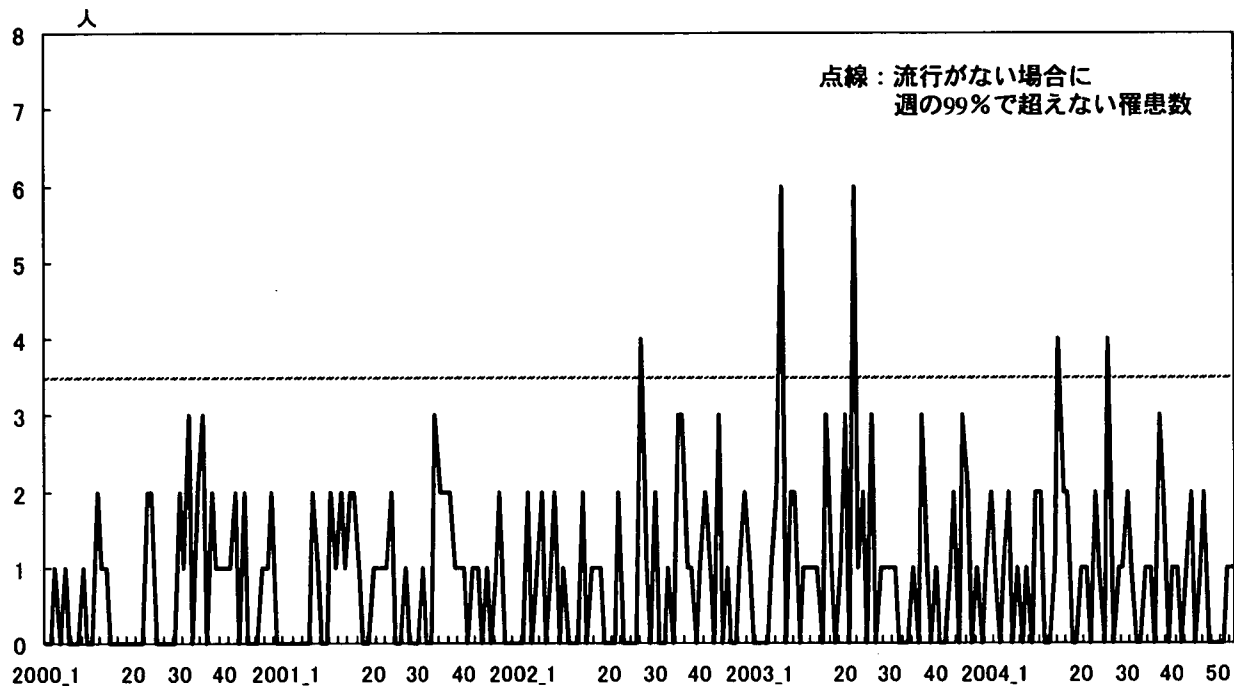
図IV-2-9. 週別、罹患数（日本紅斑熱）



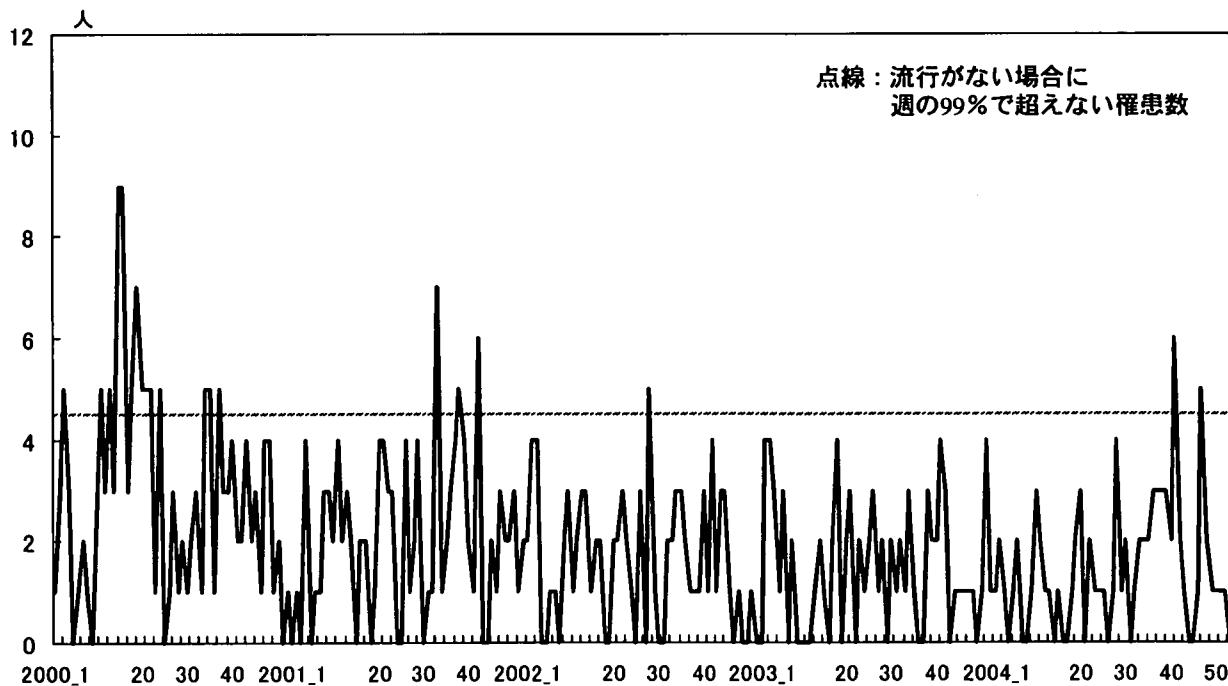
図IV-2-10. 週別、罹患数（破傷風）



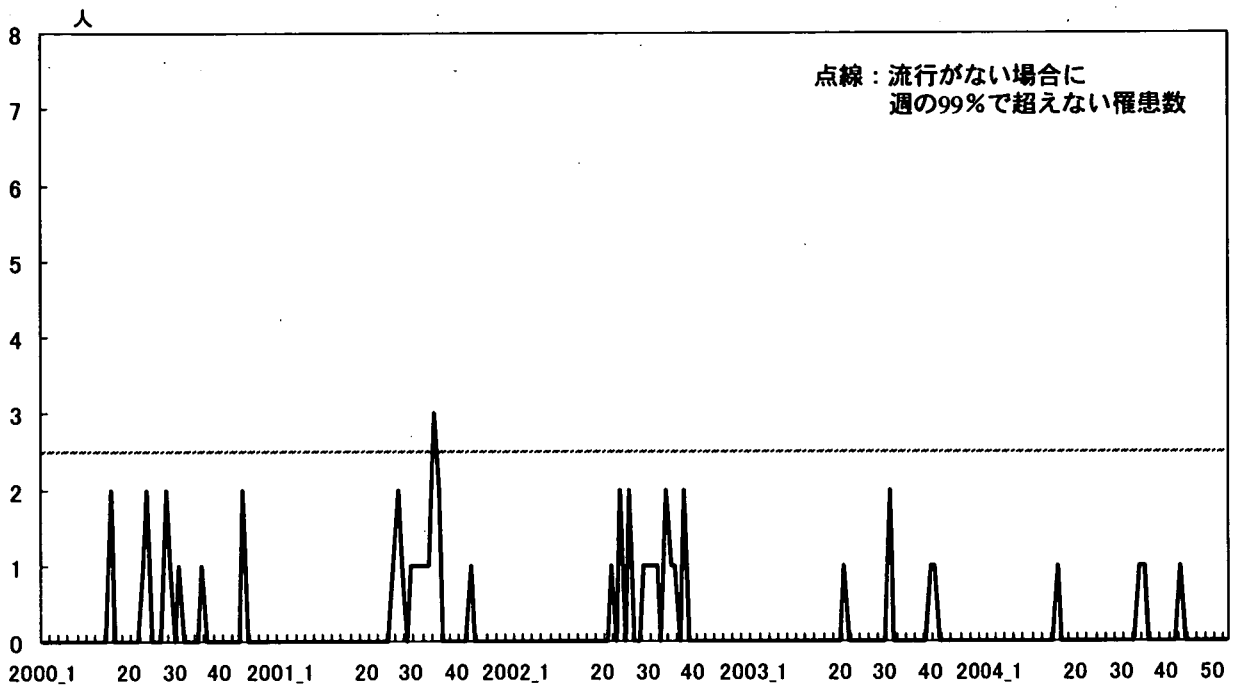
図Ⅳ-2-11. 週別、罹患数（バンコマイシン耐性腸球菌感染症）



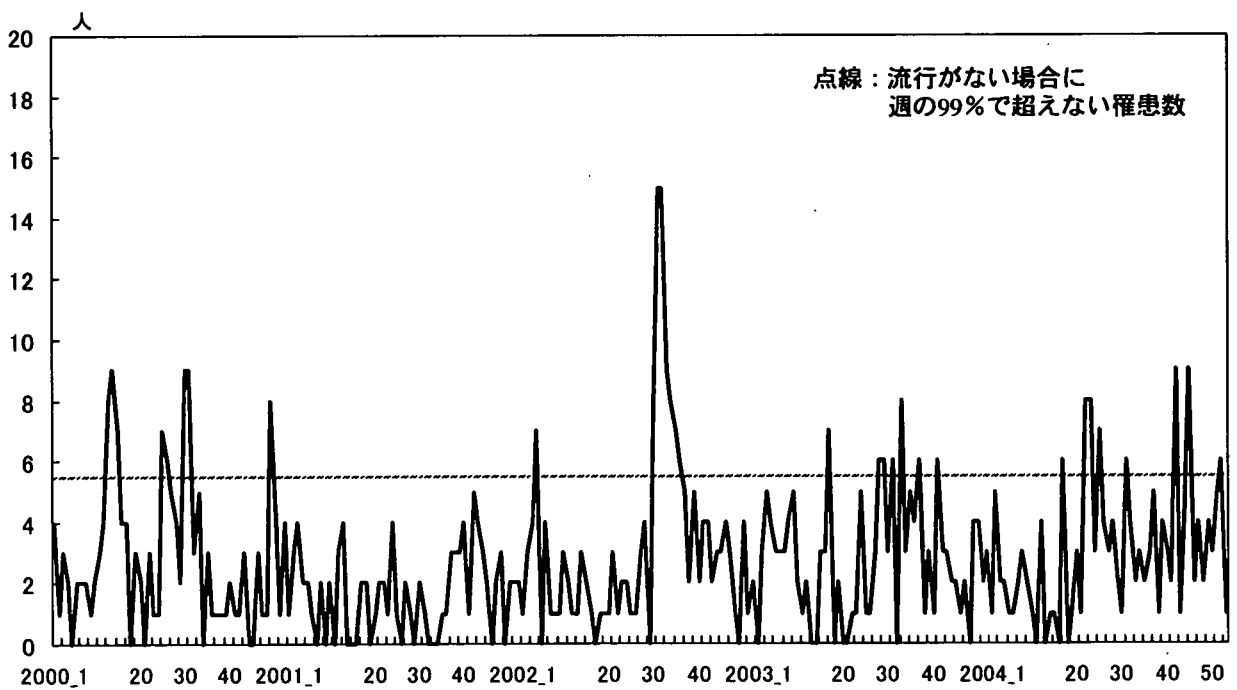
図Ⅳ-2-12. 週別、罹患数（マラリア）



図IV-2-13. 週別、罹患数（ライム病）



図IV-2-14. 週別、罹患数（レジオネラ症）





### IV-3. 罹患の地域的分布

罹患の地域的分布として、2000～2004年について、都道府県別、および、都道府県・週別の罹患数の状況を観察した。観察にあたって、流行がない場合の罹患率推定値を比較の基準として用いた。

#### 1) 検討方法

前節と同じように、基礎資料は2000～2004年における感染症発生動向調査データとし、検討対象は4・5類感染症の全数把握対象疾患の中で、先の14疾患とした。

疾患ごとに都道府県別の5年間の年次別罹患数を観察した。(罹患数の報告値) / (罹患数の期待値) を算定するとともに、その比が1かどうかを有意水準1%で検定した。罹患数の期待値は流行がない場合の罹患率(表IV-1-2)と人口から算定し、検定では罹患数の報告値がポアソン分布に従うことを仮定した。

疾患ごとに、都道府県と週別の罹患数を観察した。観察にあたって、各都道府県・週の罹患が1例と2例以上に2区分した。なお、流行がない場合、都道府県・週の罹患が2例以上となることはごく稀である。

#### 2) 検討結果

##### (1) 都道府県分布

表IV-3-1～7に14疾患の都道府県別罹患数を示す。エキノコックス症の罹患はほとんどが北海道であり、毎年見られた。オウム病の罹患は2002年の島根と広島、2003年の大阪などで多かった。Q熱の罹患は2000年の北海道と宮城、2000年と2001年の静岡、2001年と2002年の東京などで多かった。クリプトスポリジウム症の罹患は2002年の北海道と神戸、2004年の埼玉と千葉で多かった。劇症型溶血性レンサ球菌感染症の罹患はとくに多い都道府県が見られなかった。ジアルジア症の罹患は東京と京都などで多かった。

髄膜炎菌性髄膜炎の罹患はとくに多い都道府県が見られなかった。デング熱の罹患は各年ともに東京、2001年と2002年の神奈川で多かった。日本紅斑熱の罹患は各年ともに島根、高知と鹿児島で多かった。破傷風の罹患は各地域に散在していた。バンコマイシン耐性腸球菌感染症の罹患は各地域に散在していた。マラリアの罹患は各年ともに東京で多かった。ライム病の罹患は各年ともに北海道で多かった。レジオネラ症の罹患は2000年の山形、茨城と静岡、2002年の宮崎と鹿児島、2003年の岡山などで多かった。

##### (2) 都道府県・週分布

図IV-3-1にエキノコックス症の都道府県・週別罹患数を示す。北海道で各年次を通して散発的に見られた。図IV-3-2にオウム病の都道府県・週別罹患数を示す。2002年はじめに島根に多く、それに続いて広島で多かった。図IV-3-3にQ熱の都道府県・週別罹患数を示す。2000年には北海道、宮城、静岡で散発的に多く、2001年の終わりから2002年の終わりに東京で多かった。図IV-3-4にクリプトスポリジウム症の都道府県・週別罹患数を示す。2002年の半ばに北海道、千葉と神戸、2004年に埼玉と千葉などで多かった。図IV-3-5に劇症型溶血性レンサ球菌感染症の都道府県・週別罹患数を示す。各年を通して全国に渡って散発的に見られた。図IV-3-6にジアルジア症の都道府県・週別罹患数を示す。各年を通して東京、神奈川、京都と大阪で多かった。

図IV-3-7に髄膜炎菌性髄膜炎の都道府県・週別罹患数を示す。とくに大きな集積は見られなかった。図IV-3-8にデング熱の都道府県・週別罹患数を示す。各年を通して東京で多く、2001年の半ばから2002年の半ばに神奈川県で多かった。図IV-3-9に日本紅斑熱の都道府県・週別罹患数を示す。2000年の千葉に多いことを除くと、各年ともに島根、高知、鹿児島などで多かった。図IV-3-10に破傷風の都道府県・週別罹患数を示す。各年を通して全国に渡って散発的に見られた。図IV-3-11にバンコマイシン耐性腸球菌感染症の都道府県・週別罹患数を示す。各年ともに東京に多く、それ以外は2003年と2004年に散発的に各地で多かった。図IV-3-12にマラリアの都道府県・週別罹患数を示す。各年を通して東京で多かった。図IV-3-13にライム病の都道府県・週別罹患数を示す。2000～2003年で北海道に多かった。図IV-3-14にレジオネラ症の都道府県・週別罹患数を示す。各年ともに東京で比較的多く見られることを除くと、2000年はじめの静岡、2000年半ばの茨城、2002年半ばの宮崎と鹿児島などで多かった。

以上、各疾患について罹患数の地域的分布を観察した。罹患が全国で散発的に見られる疾患、特定の地域に多い疾患、特定の地域で特定の期間に多い疾患などが見られた。都道府県単位に流行発生の可能性を観察するとき、流行のない場合の罹患率を基準値とする比には有用性があると考えられた。また、都道府県・週単位の罹患状況プロットは、時間的・地域的な集積状況をみる上で、有用な視覚的方法と考えられた。

表IV-3-1. 都道府県別、罹患数(エキノコックス症、オウム病)

都道府 県	エキノコックス症						オウム病					
	罹患数					罹患数 の合計 ／期待	罹患数					罹患数 の合計 ／期待
	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年		2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	
北海道	21	13	9	19	25	56.3 *	0	0	3	1	1	0.9
青森	0	1	0	0	0	2.5	0	2	0	0	2	2.8
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	0.7
宮城	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	1	0.9
秋田	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
山形	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
福島	1	0	0	0	0	1.7	3	0	0	0	0	1.5
茨城	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.3
栃木	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	5	1	3.1
群馬	0	0	0	0	1	1.8	0	0	0	0	0	0.0
埼玉	0	0	0	0	0	0.0	2	1	1	1	1	0.9
千葉	0	0	0	0	0	0.0	2	1	0	0	0	0.5
東京	0	0	0	0	0	0.0	3	7	5	2	3	1.7 *
神奈川	0	0	0	0	0	0.0	0	5	0	5	2	1.5
新潟	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	2	0.8
富山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
石川	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.9
福井	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0	1.3
山梨	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	1.2
長野	0	0	0	0	0	0.0	1	0	2	0	0	1.4
岐阜	0	0	0	0	0	0.0	0	0	3	0	0	1.5
静岡	0	0	0	0	0	0.0	0	4	2	1	3	2.7 *
愛知	0	0	0	1	0	0.5	0	5	1	3	2	1.6
三重	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	0.6
滋賀	0	0	1	0	0	2.7	0	0	0	1	1	1.5
京都	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	0	0	0.8
大阪	0	1	0	0	0	0.4	1	5	5	9	6	3.1 *
神戸	0	0	0	0	0	0.0	0	0	3	3	0	1.1
奈良	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	0.7
和歌山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	1	0	2.0
鳥取	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	2	3.4
島根	0	0	0	0	0	0.0	0	0	11	1	1	17.8 *
岡山	0	0	0	0	0	0.0	2	0	2	0	0	2.1
広島	0	0	0	0	0	0.0	1	1	7	2	3	5.1 *
山口	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	3	0	2.7
徳島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
香川	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	2	3.1
愛媛	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.7
高知	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	1	0	2.6
福岡	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	0	3	1.0
佐賀	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0	1.2
長崎	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
熊本	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.6
大分	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	0.9
宮崎	0	0	0	0	0	0.0	1	0	1	1	0	2.7
鹿児島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
沖縄	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.8

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表IV-1-2)から算定。

\* : p<0.01

表Ⅳ-3-2. 都道府県別、罹患数(Q熱、クリプトスポリジウム症)

都道府県	Q熱						クリプトスポリジウム症					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	8	2	1	2	0	4.8 *	0	0	35	0	3	27.9 *
青森	0	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0.0
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
宮城	8	0	0	2	0	8.9 *	0	0	0	0	0	0.0
秋田	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
山形	0	0	1	0	0	1.7	0	0	0	0	0	0.0
福島	0	0	0	1	0	1.0	0	0	0	0	0	0.0
茨城	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	1.4
栃木	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
群馬	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
埼玉	0	3	2	0	0	1.5	0	0	0	0	28	16.7 *
千葉	0	1	0	0	0	0.4	2	0	6	0	54	43.2 *
東京	0	19	35	1	1	9.7 *	1	6	3	6	8	8.2 *
神奈川	0	1	0	0	0	0.2	0	4	0	0	0	1.9
新潟	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
富山	0	0	1	0	0	1.9	0	0	0	0	0	0.0
石川	0	0	0	1	0	1.8	0	0	0	0	0	0.0
福井	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
山梨	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
長野	0	1	0	0	0	0.9	0	0	0	0	0	0.0
岐阜	0	0	1	0	0	1.0	0	0	0	0	0	0.0
静岡	6	5	1	0	0	6.7 *	0	0	0	0	0	0.0
愛知	1	2	2	0	2	2.1	0	0	0	0	0	0.0
三重	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
滋賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
京都	0	1	0	0	1	1.6	0	0	0	0	0	0.0
大阪	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	1	0	1.4
神戸	0	2	1	2	0	1.9	0	1	61	0	0	46.3 *
奈良	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
鳥取	0	1	0	0	0	3.4	0	0	0	0	0	0.0
島根	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
岡山	0	0	1	0	0	1.1	0	0	0	0	0	0.0
広島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
山口	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
徳島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
香川	0	1	0	0	1	4.1	0	0	0	0	0	0.0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
高知	1	2	0	0	0	7.8 *	0	0	0	0	0	0.0
福岡	0	1	1	0	1	1.3	0	0	0	0	0	0.0
佐賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
長崎	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	2.8
熊本	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
大分	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
宮崎	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
鹿児島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
沖縄	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	3.1

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表Ⅳ-1-2)から算定。

\*: p&lt;0.01

表IV-3-3. 都道府県別、罹患数(劇症型溶血性レンサ球菌感染症、ジアルジア症)

都道府県	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						ジアルジア症					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	1	1	4	3	2	0.8	2	0	2	3	4	0.9
青森	0	1	0	0	0	0.3	0	0	0	0	1	0.3
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	2	0.7
宮城	0	1	1	0	1	0.6	1	2	1	2	0	1.2
秋田	1	0	0	0	1	0.7	1	0	0	0	0	0.4
山形	0	0	2	0	1	1.1	0	0	0	2	1	1.1
福島	2	2	2	2	4	2.5 *	0	0	2	2	1	1.1
茨城	2	0	0	3	0	0.7	2	3	2	1	2	1.6
栃木	1	0	0	0	0	0.2	0	0	0	1	1	0.5
群馬	1	0	5	1	1	1.7	0	0	1	0	1	0.5
埼玉	3	2	4	2	2	0.8	7	3	1	2	1	0.9
千葉	3	4	7	1	2	1.2	3	2	4	2	13	1.9 *
東京	9	5	13	5	6	1.4	19	58	44	30	17	6.5 *
神奈川	4	2	3	1	5	0.8	12	13	11	20	9	3.6 *
新潟	1	2	2	0	1	1.1	0	0	0	0	2	0.4
富山	0	0	1	1	0	0.8	0	1	0	0	0	0.4
石川	1	0	3	1	3	3.0 *	1	0	0	1	0	0.8
福井	0	0	2	1	0	1.6	0	3	1	0	1	2.8
山梨	0	0	1	0	0	0.5	0	0	4	3	0	3.7 *
長野	0	2	1	3	1	1.4	3	0	0	0	0	0.6
岐阜	1	0	1	0	0	0.4	1	0	0	3	1	1.1
静岡	2	1	4	4	2	1.5	1	2	1	1	1	0.7
愛知	3	4	7	2	3	1.2	3	0	3	1	2	0.6
三重	0	1	0	3	0	0.9	2	0	0	0	1	0.8
滋賀	0	0	1	0	1	0.6	0	1	0	0	2	1.0
京都	0	2	4	3	1	1.7	7	17	11	6	0	7.3 *
大阪	2	1	0	1	5	0.4	14	16	10	9	8	3.0 *
神戸	5	3	6	3	4	1.6	7	5	2	1	5	1.7 *
奈良	0	2	0	0	0	0.6	3	1	0	2	2	2.6 *
和歌山	0	0	3	1	2	2.5	0	0	0	0	1	0.4
鳥取	1	1	0	1	0	2.1	2	0	0	2	0	3.1
島根	0	0	1	0	0	0.6	0	0	1	0	0	0.6
岡山	2	1	1	0	0	0.9	1	1	3	0	4	2.2 *
広島	1	1	0	2	0	0.6	0	0	2	0	0	0.3
山口	0	0	2	0	0	0.6	0	0	0	0	0	0.0
徳島	0	1	0	0	1	1.1	1	0	1	0	1	1.7
香川	0	0	0	1	0	0.4	0	2	0	1	0	1.4
愛媛	0	1	2	0	0	0.9	1	1	1	1	0	1.3
高知	0	1	1	1	0	1.6	1	2	1	0	0	2.3
福岡	1	2	2	1	4	0.9	0	1	2	2	3	0.7
佐賀	0	0	1	1	0	1.0	0	0	1	0	0	0.5
長崎	0	0	1	1	0	0.6	0	0	0	2	1	0.9
熊本	0	0	2	2	2	1.4	0	0	0	1	0	0.3
大分	0	0	1	0	0	0.4	1	0	0	0	0	0.4
宮崎	0	1	0	0	0	0.4	2	1	0	1	0	1.6
鹿児島	0	0	0	1	0	0.2	0	0	0	0	0	0.0
沖縄	0	2	1	1	0	1.3	0	2	1	1	4	2.8 *

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表IV-1-2)から算定。

\* : p<0.01

表IV-3-4. 都道府県別、罹患数(髄膜炎菌性髄膜炎、デング熱)

都道府県	髄膜炎菌性髄膜炎						デング熱					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	0	0	0	0	0	0.0	0	1	1	0	0	0.4
青森	0	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0.0
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
宮城	1	0	0	0	1	1.8	0	1	3	0	1	2.7
秋田	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	1.1
山形	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	1.0
福島	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.6
茨城	0	0	0	0	1	0.7	0	2	0	0	0	0.8
栃木	0	0	0	1	0	1.0	0	0	0	1	1	1.3
群馬	0	0	0	0	0	0.0	1	0	1	1	0	1.9
埼玉	0	0	0	0	1	0.3	1	2	2	0	1	1.1
千葉	2	1	2	1	0	2.1	0	3	1	2	1	1.5
東京	1	2	1	4	7	2.6 *	12	20	19	13	27	9.4 *
神奈川	3	1	2	5	3	3.4 *	0	7	10	2	5	3.5 *
新潟	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
富山	0	0	0	0	0	0.0	0	1	1	0	0	2.2
石川	1	0	0	0	0	1.8	0	0	1	0	0	1.1
福井	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	1.5
山梨	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
長野	1	0	0	0	0	0.9	0	1	0	1	1	1.7
岐阜	0	0	0	0	1	1.0	0	0	0	1	0	0.6
静岡	2	0	1	0	0	1.7	0	1	1	2	0	1.3
愛知	0	2	1	0	2	1.5	2	1	1	1	5	1.8
三重	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.7
滋賀	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	0	2	2.8
京都	0	0	0	1	0	0.8	0	0	0	1	1	1.0
大阪	1	0	0	2	0	0.7	0	1	6	3	0	1.4
神戸	0	0	0	0	0	0.0	0	2	1	1	1	1.1
奈良	0	0	0	0	0	0.0	1	2	0	1	1	4.4 *
和歌山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	0	1.2
鳥取	0	0	0	1	1	6.8	0	0	0	0	0	0.0
島根	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
岡山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
広島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.4
山口	0	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0.0
徳島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	1.5
香川	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0	1.2
愛媛	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
高知	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
福岡	1	1	1	1	0	1.7	0	2	0	0	0	0.5
佐賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
長崎	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.8
熊本	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.7
大分	0	0	0	1	0	1.7	0	0	0	0	0	0.0
宮崎	0	1	0	1	1	5.4	0	0	0	0	0	0.0
鹿児島	1	0	0	0	1	2.3	0	0	0	0	0	0.0
沖縄	1	0	1	0	1	4.7	0	0	0	0	0	0.0

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表IV-1-2)から算定。

\*: p&lt;0.01

表IV-3-5. 都道府県別、罹患数(日本紅斑熱、破傷風)

都道府県	日本紅斑熱						破傷風					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	0	0	0	0	0	0.0	2	2	6	3	4	0.9
青森	0	0	0	0	0	0.0	3	1	2	0	2	1.7
岩手	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	0	1	0.4
宮城	0	0	0	0	0	0.0	4	2	1	1	4	1.6
秋田	0	0	0	0	0	0.0	0	1	1	0	1	0.8
山形	0	0	0	0	0	0.0	2	1	0	0	2	1.2
福島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	8	1	3	1.8
茨城	0	0	0	0	0	0.0	1	3	2	0	2	0.8
栃木	0	0	0	0	0	0.0	2	1	7	1	2	2.0 *
群馬	0	0	0	0	0	0.0	1	1	3	4	5	2.1 *
埼玉	0	0	0	0	0	0.0	4	0	4	6	1	0.7
千葉	9	0	0	0	4	4.7 *	3	6	3	2	4	0.9
東京	0	0	0	0	0	0.0	7	4	6	3	2	0.6
神奈川	0	0	0	0	0	0.0	2	5	3	2	4	0.6
新潟	0	0	0	0	0	0.0	1	1	2	4	2	1.3
富山	0	0	0	0	0	0.0	0	1	1	2	2	1.7
石川	0	0	0	0	0	0.0	3	3	0	1	2	2.4 *
福井	0	0	0	0	1	2.6	1	0	0	0	0	0.4
山梨	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	3	3	2.1
長野	0	0	0	0	1	1.0	2	3	2	2	3	1.7
岐阜	0	0	0	0	0	0.0	2	2	1	0	3	1.2
静岡	1	0	0	0	0	0.6	2	3	3	1	6	1.2
愛知	0	0	0	0	0	0.0	4	0	3	3	1	0.5
三重	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	0	1	0.5
滋賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	2	0.7
京都	0	0	0	0	0	0.0	3	2	1	1	2	1.1
大阪	0	0	1	0	0	0.2	3	3	2	4	3	0.5
神戸	6	4	3	3	2	7.0 *	6	2	4	0	2	0.8
奈良	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	2	0	0.4
和歌山	4	2	2	0	3	22.2 *	0	0	0	0	0	0.0
鳥取	0	0	0	0	0	0.0	1	0	1	1	0	1.5
島根	10	8	11	13	12	153.0 *	1	3	2	2	5	5.3 *
岡山	0	0	0	0	0	0.0	3	3	1	1	3	1.7
広島	0	0	0	0	0	0.0	4	1	4	4	2	1.6
山口	0	0	0	0	0	0.0	1	2	4	2	3	2.4 *
徳島	0	0	2	4	10	42.0 *	0	3	1	2	0	2.3
香川	0	0	0	0	0	0.0	1	0	2	0	0	0.9
愛媛	0	0	0	2	6	11.6 *	1	5	4	2	2	2.9 *
高知	3	14	7	14	13	135.2 *	2	2	2	1	0	2.7
福岡	0	0	0	0	0	0.0	2	3	3	4	2	0.9
佐賀	0	0	0	0	0	0.0	0	1	2	0	2	1.8
長崎	0	0	0	0	0	0.0	2	2	0	1	1	1.2
熊本	0	0	1	0	0	1.2	1	3	0	2	2	1.3
大分	0	0	0	0	1	1.8	0	0	2	0	0	0.5
宮崎	0	4	3	2	3	22.1 *	3	2	3	0	3	2.9 *
鹿児島	5	8	6	14	11	53.2 *	10	0	6	3	6	4.3 *
沖縄	0	0	0	0	0	0.0	0	3	2	1	1	1.6

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表IV-1-2)から算定。

\*: p&lt;0.01

表Ⅳ-3-6. 都道府県別、罹患数(バンコマイシン耐性腸球菌感染症、マラリア)

都道府県	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						マラリア					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	0	1	2	13	6	2.5 *	4	4	2	2	1	1.1
青森	0	1	0	0	0	0.4	0	0	1	0	0	0.3
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
宮城	0	0	1	0	0	0.3	2	1	0	1	2	1.3
秋田	5	0	3	1	4	7.2 *	0	0	0	0	0	0.0
山形	0	0	1	0	0	0.5	0	1	1	0	0	0.8
福島	0	0	0	0	0	0.0	2	0	0	0	0	0.5
茨城	1	1	1	2	2	1.5	1	2	2	1	4	1.7
栃木	0	1	0	1	0	0.7	7	2	0	2	1	3.0 *
群馬	0	0	0	1	0	0.3	0	0	0	0	0	0.0
埼玉	3	0	1	4	5	1.2	3	4	2	4	3	1.1
千葉	3	0	2	1	1	0.8	6	7	2	0	1	1.3
東京	7	14	9	4	10	2.4 *	61	45	27	33	22	7.7 *
神奈川	2	8	2	9	5	2.0 *	17	7	11	12	8	3.2 *
新潟	0	0	0	0	0	0.0	2	1	2	0	0	1.0
富山	0	1	0	0	0	0.6	1	0	0	0	0	0.4
石川	0	0	0	2	0	1.1	0	1	0	0	0	0.4
福井	0	0	0	0	0	0.0	1	1	0	1	0	1.8
山梨	1	2	1	0	4	5.9 *	0	0	0	0	0	0.0
長野	0	0	0	3	0	0.9	1	0	0	0	0	0.2
岐阜	0	2	0	1	0	0.9	1	0	0	0	1	0.5
静岡	0	2	0	1	2	0.9	2	2	1	0	3	1.0
愛知	1	2	1	0	1	0.5	8	2	5	3	2	1.4
三重	0	0	0	0	1	0.4	2	2	0	1	0	1.3
滋賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	2	0.7
京都	0	0	1	1	0	0.5	2	2	5	2	2	2.4 *
大阪	2	0	4	1	1	0.6	12	6	13	5	10	2.6 *
神戸	3	1	0	1	0	0.6	2	5	2	2	5	1.4
奈良	1	0	0	0	1	0.9	1	0	1	0	0	0.7
和歌山	0	0	0	0	0	0.0	1	0	1	0	0	0.9
鳥取	0	0	0	0	1	1.1	1	1	0	0	0	1.6
島根	0	0	0	1	1	1.7	0	0	0	1	2	2.0
岡山	0	1	2	0	1	1.3	0	1	1	0	1	0.8
広島	0	2	0	8	0	2.3 *	3	2	0	0	1	1.0
山口	0	0	1	1	0	0.9	2	0	0	0	0	0.7
徳島	0	0	1	0	0	0.8	0	1	0	0	0	0.6
香川	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0	0.5
愛媛	0	0	0	0	0	0.0	0	0	3	2	1	2.0
高知	0	1	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0.0
福岡	3	0	10	0	3	2.1 *	4	4	1	2	1	1.2
佐賀	1	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0.0
長崎	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	1	0.7
熊本	0	0	0	0	1	0.4	2	0	0	1	0	0.8
大分	0	0	0	2	0	1.1	0	0	0	0	0	0.0
宮崎	0	0	1	0	0	0.6	0	1	0	0	1	0.8
鹿児島	3	0	0	1	0	1.5	2	1	0	0	1	1.1
沖縄	0	0	0	0	0	0.0	0	3	0	2	1	2.2

期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表Ⅳ-1-2)から算定。

\* : p<0.01



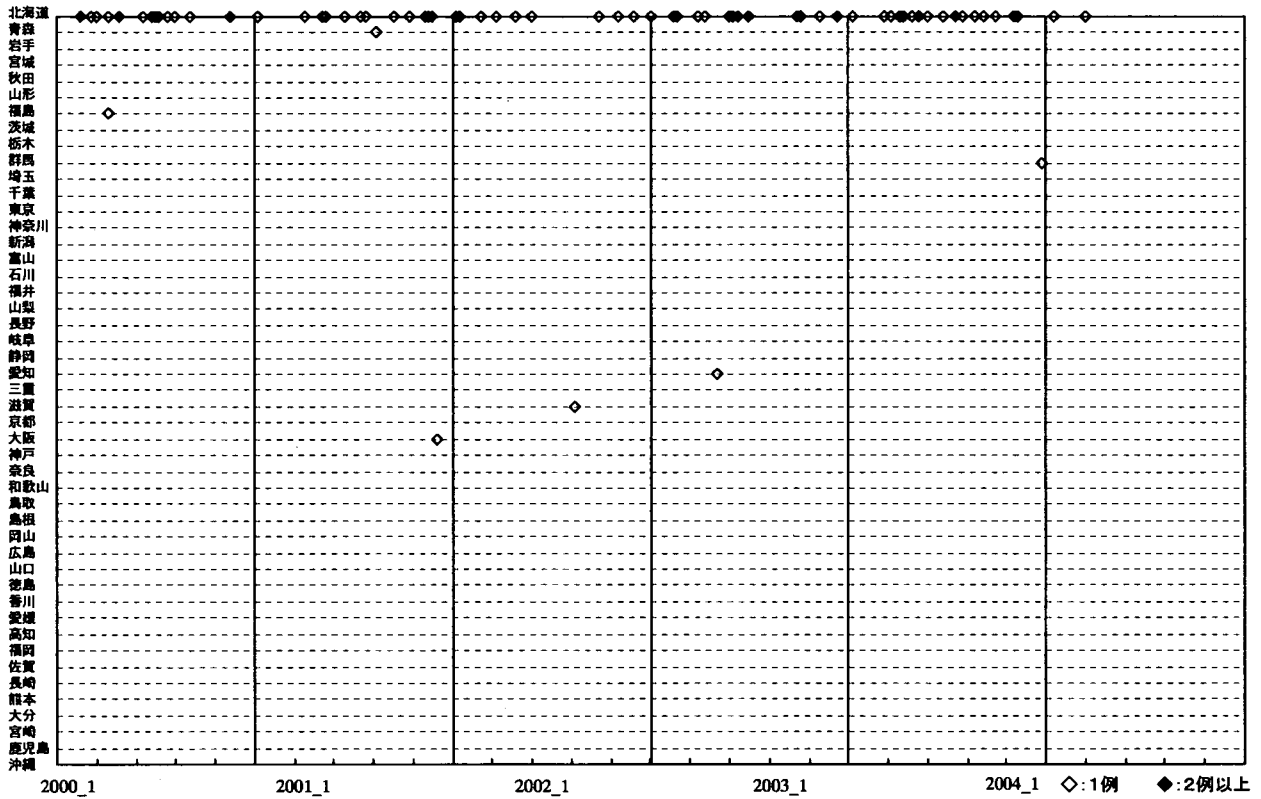
表Ⅳ-3-7. 都道府県別、罹患数(ライム病、レジオネラ症)

都道府県	ライム病						レジオネラ症					
	罹患数					罹患数の合計 ／期待	罹患数					罹患数の合計 ／期待
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
北海道	11	5	7	2	0	13.8 *	1	2	0	1	0	0.2
青森	0	0	1	0	0	2.1	0	0	0	0	0	0.0
岩手	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	0	1	0.4
宮城	0	1	0	0	0	1.3	3	4	4	6	8	3.0 *
秋田	0	0	0	0	0	0.0	1	1	1	1	0	1.0
山形	0	0	0	0	0	0.0	9	3	5	5	6	6.4 *
福島	0	0	1	0	1	3.0	1	0	5	1	6	1.7
茨城	0	0	0	0	0	0.0	31	4	3	2	5	4.3 *
栃木	0	0	0	0	0	0.0	4	0	3	3	5	2.1 *
群馬	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	2	4	0.8
埼玉	0	0	0	0	1	0.5	4	4	9	9	7	1.3
千葉	0	0	0	0	0	0.0	6	3	2	1	1	0.6
東京	0	4	1	0	0	1.3	11	18	17	18	18	1.9 *
神奈川	0	0	3	1	0	1.5	2	2	4	6	6	0.7
新潟	0	0	1	0	0	1.3	3	5	3	10	1	2.5 *
富山	0	1	0	0	0	2.8	3	2	1	4	2	3.0 *
石川	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0	4	2	1.7
福井	0	0	0	0	0	0.0	1	0	0	1	1	1.0
山梨	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	1	0.3
長野	0	1	0	0	1	2.8	1	3	2	2	2	1.3
岐阜	0	0	0	0	1	1.5	0	2	2	0	1	0.7
静岡	0	0	0	0	0	0.0	30	3	10	10	10	4.7 *
愛知	0	0	0	1	0	0.4	8	8	5	4	15	1.6 *
三重	0	0	0	0	0	0.0	4	0	0	0	1	0.8
滋賀	0	0	0	0	0	0.0	2	1	1	1	0	1.0
京都	0	0	0	0	0	0.0	0	1	2	3	1	0.7
大阪	0	0	0	0	0	0.0	5	2	12	13	9	1.3
神戸	1	0	0	0	0	0.6	3	3	4	2	9	1.1
奈良	0	0	0	0	0	0.0	0	2	1	2	1	1.2
和歌山	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	1	0.5
鳥取	0	1	0	0	0	5.1	0	2	0	1	1	1.8
島根	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	0	1	1.1
岡山	0	0	0	0	0	0.0	1	1	5	13	8	4.1 *
広島	0	1	0	0	0	1.1	3	1	3	2	4	1.3
山口	0	1	0	0	0	2.1	0	0	1	0	2	0.6
徳島	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
香川	0	0	0	0	0	0.0	4	0	0	1	2	1.9
愛媛	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	1	0	0.4
高知	0	0	0	0	0	0.0	2	0	1	0	1	1.4
福岡	0	0	0	1	0	0.6	4	2	3	6	8	1.3
佐賀	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	1	2	1.0
長崎	0	0	0	0	0	0.0	4	1	0	3	0	1.5
熊本	0	0	0	0	0	0.0	0	2	3	1	0	0.9
大分	0	0	0	0	0	0.0	0	0	1	1	1	0.7
宮崎	0	0	0	0	0	0.0	0	0	37	1	1	9.5 *
鹿児島	0	0	1	0	0	1.8	2	0	11	3	5	3.3 *
沖縄	0	0	0	0	0	0.0	1	2	3	0	3	1.9

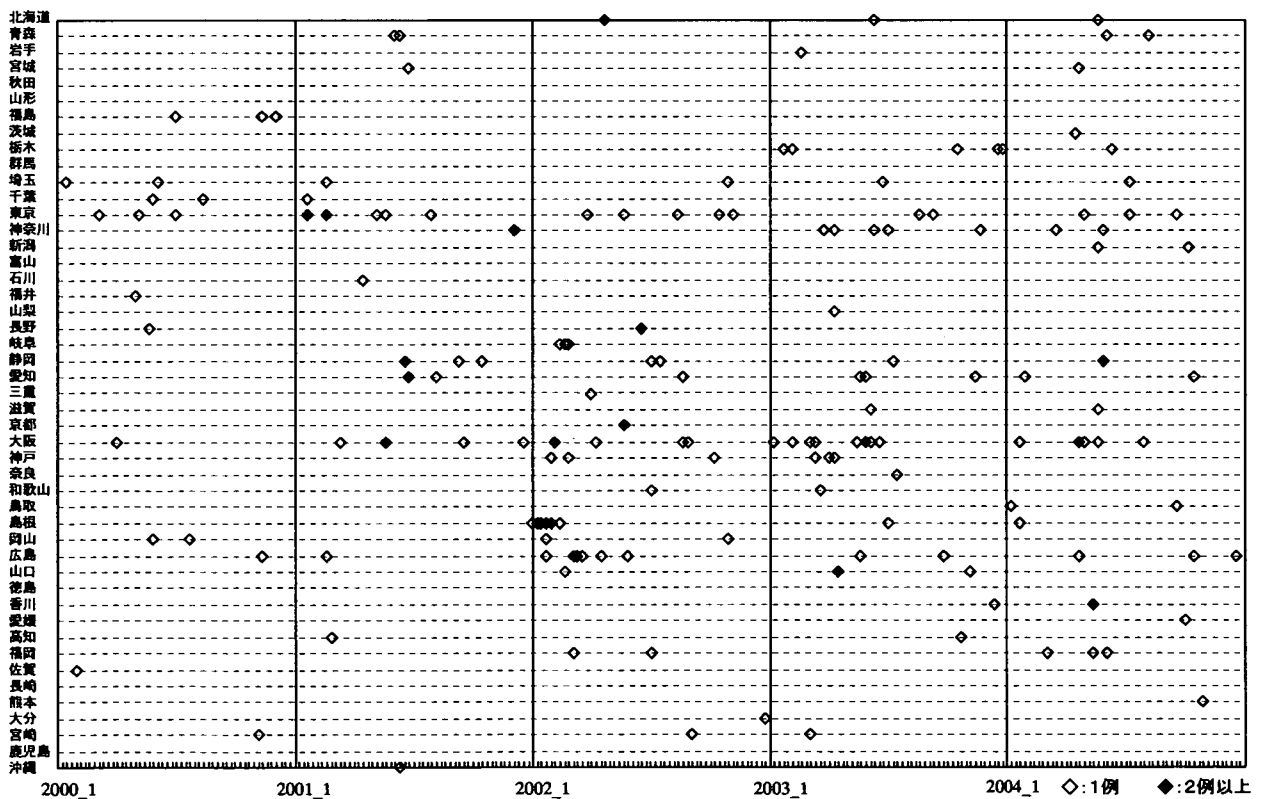
期待値は流行がない場合の人口あたり罹患率(表Ⅳ-1-2)から算定。

\*: p&lt;0.01

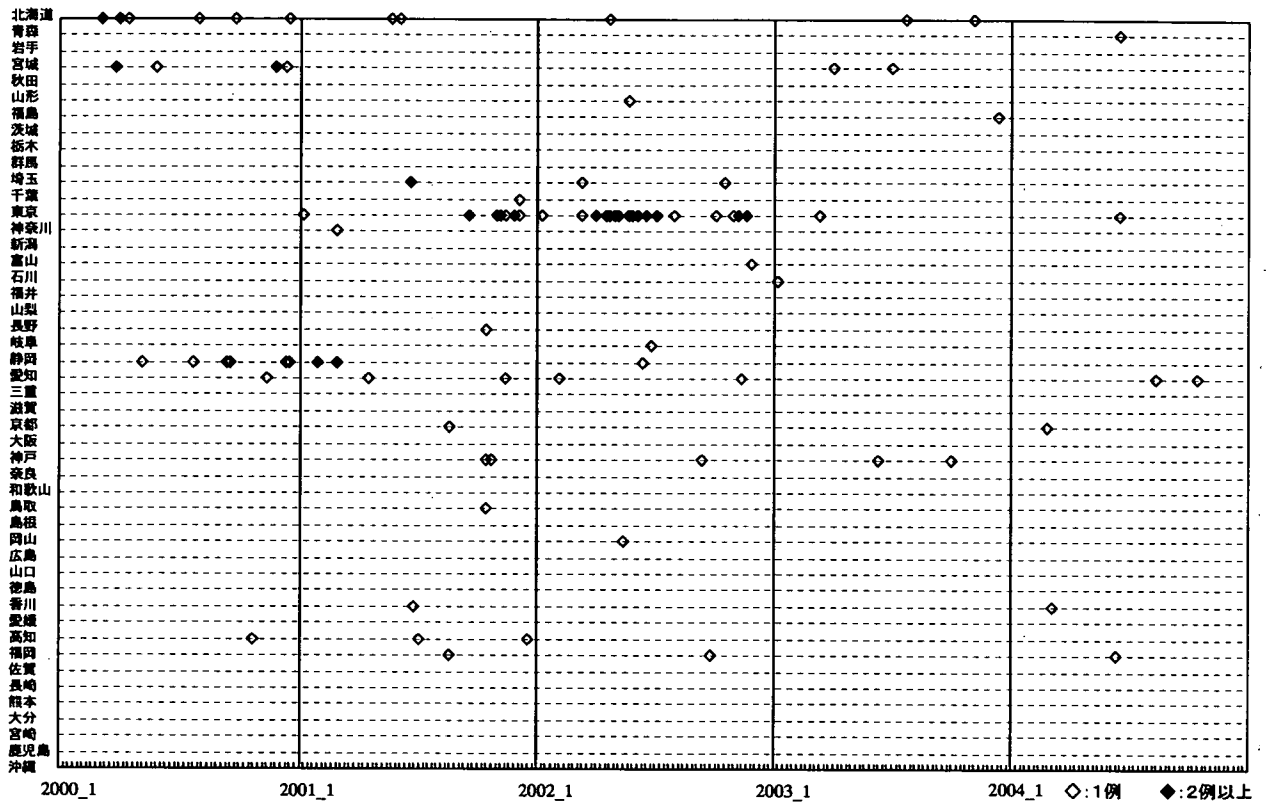
図Ⅳ-3-1. 都道府県と週別、罹患数（エキノコックス症）



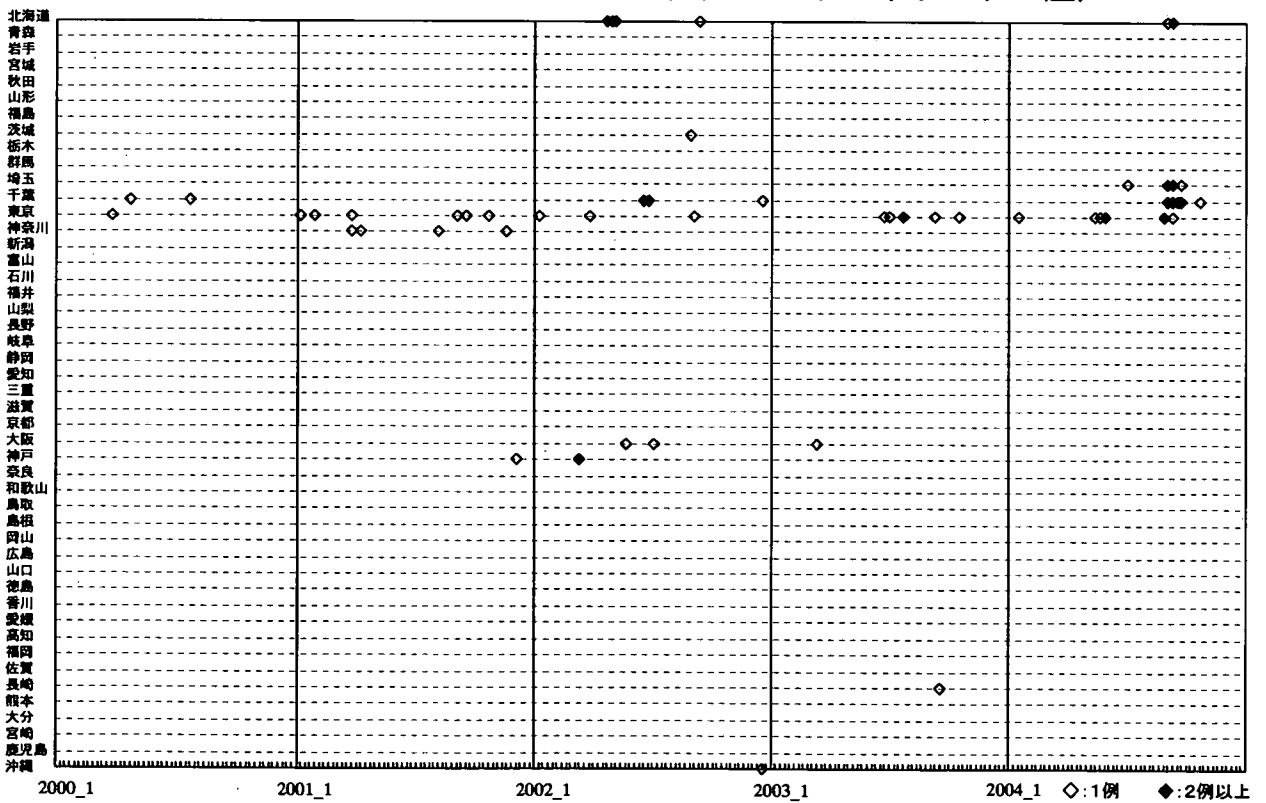
図Ⅳ-3-2. 都道府県と週別、罹患数（オウム病）



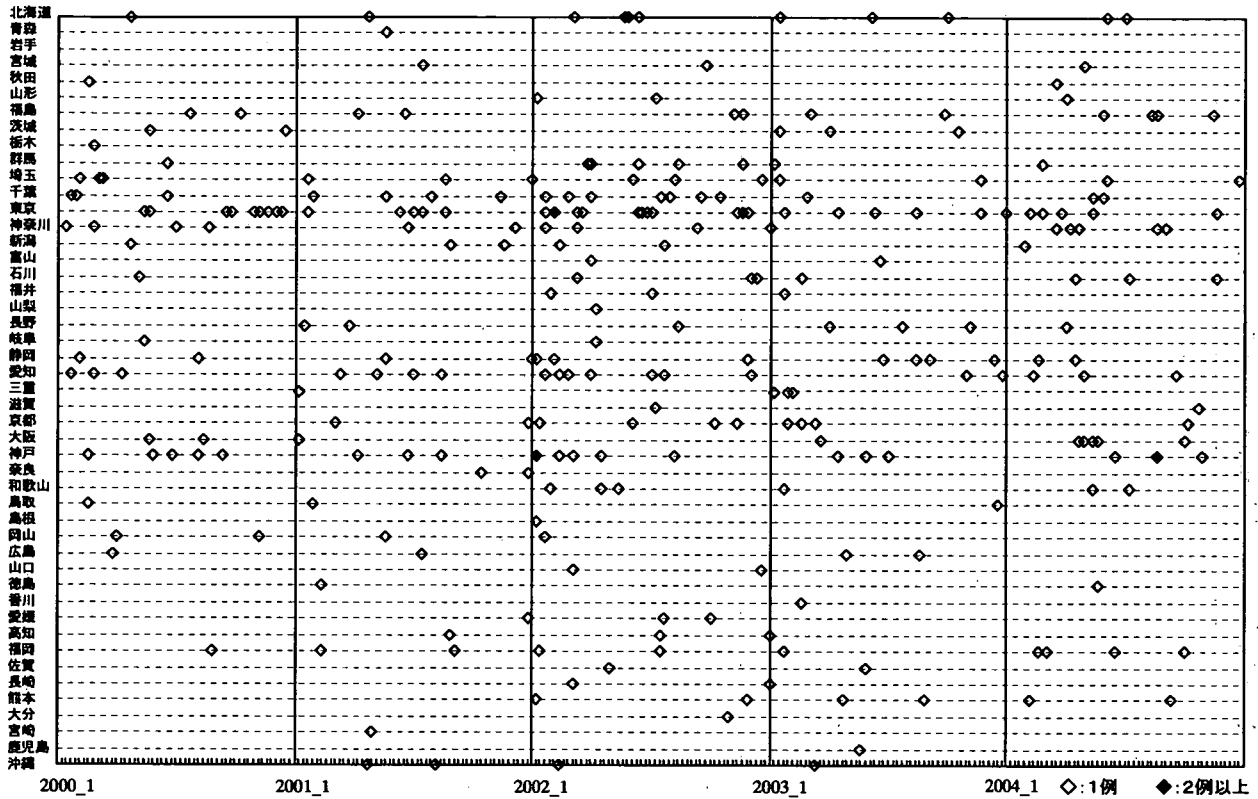
図Ⅳ-3-3. 都道府県と週別、罹患数 (Q熱)



図Ⅳ-3-4. 都道府県と週別、罹患数 (クリプトスポリジウム症)



図Ⅳ-3-5. 都道府県と週別、罹患数（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）



図Ⅳ-3-6. 都道府県と週別、罹患数（ジアルジア症）

